

「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 2 年 3 月 25 日

事業名称		道路角切買収事業費[道路角切買収事業]										
予算科目	款	8	土木費	項	2	道路橋りょう費	目	2	道路維持費	事業番号	2	
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 市単独 <input type="checkbox"/> 補助対象 <input type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)											
担当部署・課長名	土木			課			土木			係	課長名	寺島 由紀夫
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。									施策番号	4 - 4		
【施策名】 道路・交通の整備									総合計画書 (ページ)	89		
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。				① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)							
	通行車両、沿線住民及び通行者 →				道路交差点部における視距の不良箇所数							
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]				② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)							
交通の安全対策として交差点部の視距を改良し、事故防止を図る。 →				設置済箇所数								
③ そのために何をしましたか。				③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)								
交差点部に角切が無い危険箇所を交通の安全確保として土地を買収し、角切を設置する。 →				角切設置箇所数0件								
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標				
				平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績		令和2年度目標	令和3年度目標			
	対象指標	①の数値		-	-	-		/				
	成果指標	②の数値		-	-	-		/				
	目 標	②の目標値										
		目標値設定の考え方										
3 経費	事業費(実績)		円	0	0	0						
	財源	一般財源	円	0	0	0		※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,310,000円 時間単価は、4,300円 で計算してください。 【算出根拠】平成30年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)				
		特定財源	円	0	0	0						
	(うち受益者負担)		円	0	0	0						
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.1	0.1	0.1						
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0						
		職員人件費(再任用以外)	円	825,300	824,400	831,000						
職員人件費(再任用)	円	0	0	0								
事業費+人件費		円	825,300	824,400	831,000							
4 環境変化等	(1) 開始年度		昭和50年度									
	(2) 環境の変化		住宅の増加に伴い、交差点での視距不良が増加するとともに交通量も増えていることから、市民から交差点の安全対策の要望がある。									

事業名称	道路角切買収事業費[道路角切買収事業]			
担当部署・課長名	土木	課	土木	係 課長名 寺島 由紀夫

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成31年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について 通行車両、歩行者及び自転車が交差点で危険を感じている。
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。(複数回答可)
	<input type="checkbox"/> 取り組んだ <input checked="" type="checkbox"/> 取り組まない 取組手法： 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換(広報媒体：) ⑦後援・場の提供 ⑧その他()
7 課題	(2)令和2年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点
	(1)平成31年度に課題とした内容(「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題(3)を転記) 角切を買収することにより、地権者側に地積修正や測量等が発生し、支払う費用が買収金額を上回ることから、承諾が得られず買収ができなかった。
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成31年度に実施したこと。 角切が必要な箇所をリストアップし、買収可能箇所を検討した。
	(3)(2)を踏まえた今後の課題(仕事の最適化・合理化の提案) 地権者相手の内容であるので、市の計画どおりに買収が進まないケースが多い。
8 施策貢献状況 (この仕事は、総合計画(基本計画)に掲げる課題の解決手段になっているか。)	施策名： 道路・交通の整備 <input checked="" type="checkbox"/> なっている <input type="checkbox"/> 環境の変化等により成果が減少している <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業が他にあり改善の余地がある(事業名：)
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性(「7 課題(3)」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など) <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 【取組内容】 市が角切を必要と判断した箇所の地権者への折衝を行っていくとともに、道路新設時や土地の売買又は建て替え時に角切確保の用地折衝を行っていく。なお、東京都建築安全条例に該当する場所は実施済とする。
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 地権者との折衝を進めていくとともに、道路調査等により土地の売買及び建て替えの把握に努め、角切の必要性を判断していく。